

2019年度

# ささゆり

串原小学校だより

発行：岐阜県恵那市立串原小学校  
2019年8月26日 No. 2019-5  
email:kushihara-e@ena-gif.ed.jp  
http://www.kushihara-e.ed.jp/

串原小学校 合い言葉

◇ どこでも あいさつ  
◇ きちんと 発表  
◇ とこ とん 掃除

## 自己肯定感について考える

松野 光宏

37日間の夏休みも終わり、いよいよ2学期が始まります。子どもたちはこの長い夏休みをどのように過ごしていたでしょうか。

宿題をやり終えるために自分で計画的に頑張った人、体をもっと鍛えたいと思い、体力作りに励んだ人、そして、家族の一員として家のお手伝いを続けた人など、一人一人が目標をもって、充実した日々を過ごしていたことと思います。

私自身も今年の夏休みは見識を広めることを目的として、1週間に1冊の本を読むという目標をたて、何とか5冊を読み終えることができました。

そのうちの1冊に「自己肯定感」の重要性が説かれているものがありました。「自己肯定感」とは、ふだん私たちが使っている「自信」という言葉の意味に近いもので、具体的には「自分は大切な存在」「自分はかけがえのない存在」と思える心の状態を示したものだそうです。

文部科学省もこの「自己肯定感」については、毎年の調査で他国との比較をしながらその推移に着目しています。それというのも、日本の青少年の自己肯定感は他国と比べて低く、このことは日本の教育の課題としてとらえているからです。

例えば、調査結果には次のようなものがあります。

●自分はダメな人間だと思うことがある。(2014年調査結果より 調査対象 高1～高3)

|      | A とてもそう思う (%) | B まあそう思う (%) | A・B合計 (%) |
|------|---------------|--------------|-----------|
| 日本   | 25.5          | 47.0         | 72.5      |
| アメリカ | 14.2          | 30.9         | 45.1      |
| 中国   | 13.2          | 43.2         | 56.4      |
| 韓国   | 5.0           | 30.2         | 35.2      |

確かにこれからの日本を背負う青少年が、自分自身のよさを理解していなかったり、すぐに自分はダメな人間だからと思ってしまったりすると、明るい未来がやっとなような感覚に陥ってしまいます。だからこそ、自分の特性を知った上で、目標に向かって努力できる、適切な「自己肯定感」を子どもたちに持たせられるよう育てることが大切なのです。

そして、先に挙げた文部科学省は調査結果の中で学校や家庭でどのように育てられた子が自己肯定感を高く持てるかについて、次のように考察しています。

【学校の関わりで大切なこと】

- ・学級やグループで課題を設定し、自ら考え、自分から取り組むなどの主体的な学びや、友だちとの話し合いなどの他者との協働等を行っていると感じた子どもたちの方が「挑戦心」、「達成感」、「規範意識」、「自己有用感」に関する意識が高い。
- ・「先生がよいところを認めてくれる」と感じている子どもたちの方が、「自己有用感」に関する意識が高い。

【家庭、保護者の関わりで大切なこと】

- ・「家の人にほめられる」と感じている子どもたちの方が「自分には自分らしさ」があると思っている。
- ・「親から愛されている(大切にされている)」と思う子どもたちの方が、「長所がある」、「家庭生活への満足度」に関する意識が高い。

自分を愛し、自分に自信をもってたくましく生きることのできる人間を育てていくためには、学校・家庭がこうしたことを意識して接していくことが大切であるといえるようです。

# 夏休み中にも元気な子ども達の姿が見られました。

夏休みのプール 7月22日（月）～8月6日（火）

熱中症対策として、昨年度まで午後に開催していたプール開放を、今年度よりプールの開催時間を午前に変更しました。今年度は12日間のプール開放日で、雨のため中止になったのは1日だけでした。

午前中のプール開放でしたが、ちょうど良い気温と水温の中、気持ちよくプールで泳いだり、遊んだりする笑顔の子どもたちが見られました。一日平均15名の子ども達が参加しました。

保護者の方々にはご多用の中、子ども達の安全・安心のためにプール当番を行っていただきました。おかげさまで大きなケガや事故もなく、夏休みのプールを終えることができました。本当にありがとうございました。

MSCリーダー 8月10日（土）

中学生のMSJリーダーズと一緒に、小学校5・6年で構成されるMSCリーダーズも、ピラや記念品を配る手伝いをしました。地域の安全・安心のために進んで活動する姿に感心しました。

市民三学串原塾講演会 8月18日（日）

今年の三学講演会は、「tanQuest(タンキュークエスト) 探求学習 ～飛行機はなぜ飛ぶの？～飛行機と挑戦」をテーマにtanQuestの「モリリン」と「タケオクン」を講師に迎え、体験を中心とした講演会を開催していただきました。

まず、最初に「空とぶものって何がある？」と質問されました。子どもたちは「ドローン」とか「トンボ」などと答える中、「人工衛星」という答えも出るなど、様々な視点で空とぶものを考えていました。次に「チャレンジ!! 長い時間、紙を空にとどめよう」という問題が出題され、一人一人に紙が配られました。紙を折り曲げたり、丸めたり、小さくちぎったり、所々に切れ目を入れたり等、いろいろな工夫をして、1秒でも長くとどめることができるように、探求する子ども達の姿が見られました。

さらに、4種類の紙飛行機が提示され、どの紙飛行機が一番よく飛ぶのか予想し、実際に作って飛ばすことになりました。飛ばしていく中で、ポイントは「バランスが重要」「空気の流れをつかむ」と言うことが分かってきました。最後によく飛ぶ飛行機の作り方を教えていただきました。ただし、最後の工程は、自分で工夫してやってみることになりました。できあがった紙飛行機を持ち寄って、誰の紙飛行機が一番よく飛ぶのか、やってみました。最後の工程が違うだけなのに、飛ぶ距離もそれぞれで、飛ばしている子からもそれを見ている観客からも歓声が上がっていました。

最後に「やってみなくちゃわからない。みんなが正しいと思っていることでも間違っていることもあるし、間違っていると思われることにも正しいことがある。」というメッセージが伝えられました。改めて、子どもにとっての遊びの大切さや自分で探求していく大切さを感じました。



## 【お知らせ】

各教室へのクーラーの設置が完了しました。2学期からクーラーを使用していきます。

まだまだ、暑い日が続く中、運動会の練習も本格的に始まります。汗を拭くためのタオルや水分補給のための水筒（お茶）などの用意も1学期に引き続き、よろしくお願いします。

## 9月の行事予定

- 1日（日）防災訓練 午前中は各地域での防災訓練に参加します。13:15バス登校、16:00 バス下校
- 2日（月）振替休業日
- 4日（水）PTA読み聞かせ
- 9日（月）一輪車講習会
- 10日（火）持久走前の内科健康診断
- 14日（土）運動会
- 17日（火）振替休業日
- 18日（水）5・6年生着付け教室
- 21日（土）土曜授業（稲刈り、さつまいも掘り）



## 10月の行事予定

- 8日（火）就学時健診、歯科健診
- 25日（金）東濃へき地複式教育研究発表会及び恵那市教育研究発表会
- 23日（水）PTA読み聞かせ
- 30日（水）恵那市教育研究発表会参加のため午前授業

